

中目標 1：身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 交通 交通機関を利用して目的地に行くことができる	① 徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる	◇車は左人は右、信号、道路・踏切の横断、自動車の内輪差、危険行為
	② よく知られている場所を指定されれば、通行人に道を尋ねて目的地の駅に行ける	
	③ 前もって行き方を尋ねて、目的の駅まで電車を利用して行ける	
	④ 前もって行き方を尋ねて、目的の停留所までバスを利用して行ける	
	⑤ 道に迷ったときや事故に遭遇したときの対応ができる	◇周囲の人や交番（含：交番の役割）に助けを求める、センターに連絡をとる
2) 消費生活 消費生活についての知識を身に付け、日常必要な物が買え、サービスが利用できる	① 商店の形態の違いや価格の仕組みの概略を知る	◇デパート、スーパー、コンビニ、個人商店、ディスカウント店 ◇消費税、流通機構（生産者から消費者まで）
	② 買いたい物のある場所を探して、選んで買える	◇表示（店内）を見て場所を探す、人に尋ねて場所を探す ◇表示（サイズ、製造年月日、品質）・広告（値引き、期間等）を見て物を選ぶ、人に尋ねて物を選ぶ、試着して選ぶ、見分けにくい日用品（シャンプー、リンス、化粧品、洗剤）に関する商品知識、買い物の際のマナーや注意事項
	③ 身近なサービスが利用できる	◇写真の現像・焼き増し、機器の修理、クリーニング、理髪店・美容院、レストラン、喫茶店
	④ 釣り銭の間違いに対処でき、品物の返品交換ができる	
	⑤ 契約上のトラブルを回避するための知識を身に付ける	◇印鑑の重要性、訪問販売の利用で気を付けること
	⑥ 金融機関の種類や利用法を知る	◇銀行と郵便局、ノンバンク（含：ノンバンク利用で気を付けること） ◇口座を持つことの利点（預貯金、自動振替、クレジットカード）、口座の開き方、預貯金の出し入れの仕方、キャッシュカードの使い方、公共料金等の振込み方
3) センター センターでの学習生活に必要な知識を身に付け、必要な行動ができる	① 欠席、早退、遅刻の届けができる	
	② 当番（日直等）の仕事が果たせる	◇教室内外の整備（チョーク、その他の備品、掃除）、教師との連絡（含：宿題、昼食関係（食券、配膳、後片づけ）の処理
	③ その他、センターの規則を守って行動できる	◇喫煙、飲食、内ばき・外ばき、時間、身分証携帯、団体行動
4) 住居・近隣対応 居住環境についての知識を身に付け、近隣の人や援助してくれる人と良好な関係を保つことができる	① 住居内の安全と衛生に関する知識を身に付ける	◇ガス、電気、施錠、住居用洗剤等の薬品、布巾と雑巾との区別、災害への備え
	② 日本の住宅事情と住宅の種類や入居方法を知る	◇家賃の高低の要因、移転の自由 ◇公営住宅の種類・競争率、帰国者への優遇処置、民間住宅の種類 ◇不動産屋の利用の仕方（含：住宅広告の見方）
	③ 日本の近所付き合いについて知り、近隣の人とよい関係を保てる	◇引越しの挨拶、回覧板処理、町内会制度、ゴミの分類と出し方、緊急時の連絡（急病、火災、盗難）、苦情（言う、言われる）、物のやりとり（おすそわけ、みやげ）、慶弔の知識
	④ 身元引受人や自立指導員の役割を知り、これらの人々とよい関係が保てる	◇役割の知識 ◇依頼・相談の際のマナーについての知識、付き合い方の色々、招く、招かれる、時候の挨拶、贈答、事例
	⑤ 接客・訪問の基本的なマナーを身に付ける	◇訪問のマナー（服装、靴の揃え方・脱ぎ方、座布団の座り方、足のくずし方・組み方、お茶・コーヒー・紅茶の飲み方、食べ物を勧められたときの断り方）、食器類の知識 接客のマナー（服装、靴の揃え方、座布団の出し方、お茶・コーヒー・紅茶の出し方、食器類の知識、食べ物の勧め方）、食べ物の勧め方、断り方
5) 職場・自分学校 求職の方法や職場の習慣についての知識を身に付け、簡単な面接試験に対応できる	① 求職について知る	◇求職の必要性（国家の振り分けはない、競争社会の原理）、雇用条件（勤務日、勤務時間、休暇制度、保険制度、給料の仕組み）、雇用形態（正社員と他との違い）、求職の方法と流れ（職安、求人雑誌等）、今からでも可能な技術の習得
	② 職場の習慣について知る	◇欠勤、早退、遅刻の正当な理由（病気、交通事情、慶弔）と処理の仕方、長期休暇のとり方、行事、日常的な挨拶、退社後の交際、日中の職場の習慣の違い（職場の電話・事務用品は私用に使えないこと、他人の給料の額は聞かないこと、お茶汲み等の男女差）
	③ 簡単な面接試験に対応できる	◇求人広告の読み取り、履歴書の記入、面接試験のマナーと受け答え
6) 健康 日本の医療事情についての知識を身に付け、医療機関が利用できる	① 日本の医療制度について知る	◇医療券、健康保険の種類、健康保険の仕組み、病院の種類、緊急医療体制
	② 健康衛生を保つための知識を身に付ける	◇保健衛生※、薬局、健康診断、常備薬、気候と衛生 ※専門家による
	③ 1、2度自立指導員等の付き添いがあれば、次からは自力でその医療機関が利用できる	◇付き添いの依頼、医療機関利用の流れ、受診の流れ（含：再診）、症状の説明、既往症・持病・アレルギーの有無、医者の指示の理解、薬の飲み方の理解
7) 通信 郵便や電話についての知識を身に付け、利用できる	① 電話利用に必要な知識を身に付け、電話の利用ができる	◇電話普及の実態、電話設置の方法、料金の仕組み（含：割引時間帯）、電話の役割（約束、約束変更、緊急ダイヤル等）、国際電話（中国）のかけ方、電話会社の種類、電話サービス（104等） ◇電話機の種類と使い方（含：留守電）、電話のマナー（含：間違い電話）、家に来た電話の取り継ぎ、相手の名前や電話番号の記録、学校や職場への欠勤・遅刻の連絡と呼び出し、指導員等への来訪依頼、センターでの実習における現在地の報告、緊急時の連絡（119、110）
	② 郵便局の通信業務について知り、国内及び中国に手紙や小包が出せる	◇郵便局の通信業務（郵便の種類※、郵便番号、料金、中国に送れない物、不在時の受け取り）、宅急便 ※書留も含む ◇表書き、郵便局でのやりとり（テキスト参照）、季節の挨拶状、簡単な近況報告の手紙
8) 社会福祉・手続き 帰国者が受けられる公的援助と必要な手続きについて知る	① 帰国者受け入れに関する公的援助策について知る	◇生活保護制度、自立指導員、日本語学習の機会、公営住宅の優先入居（埼玉と千葉は例外）
	② 自分に必要な諸手続きの種類とその方法を知る	◇生活保護、年金、役所の窓口、書類の記入、外国人登録または住民登録、国籍取得、家族の呼び寄せ、出入国
9) 子弟教育 日本の教育事情を知り、保護者の役割が果たせる	① 日本の学校制度や教育事情、帰国者二世の進学事情を知る	◇学齢と学制、義務教育、進学率（小中高大）、教育費 ◇中学編入学年決定の要因、高校入試（一般入試と特別入試、全日制と定時制職業高校）、大学入試（一般入試と特別入試、昼間部と夜間部）、その他の教育機関（夜間中学、職訓校、専門学校）、奨学金制度
	② 小中学生の生活について知り、学校との連絡や必要な物の準備ができる	◇学校の日（学科、給食、クラブ活動）、学校の一年（学期、学校行事、長期休暇）、学校生活の規則（校則、飲酒喫煙禁止、欠席の届け） ◇お知らせや成績表の処理、弁当作りの工夫

	④ 子供が学校適応上直面する問題とその対策について知る	◇差別やいじめの原因（受け入れ側の経験不足、生活習慣の違い、年齢の違い、トラブル事例）
--	-----------------------------	---

中目標 2：将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 一般教養 帰国者に必要な一般教養を身に付ける	① 日本と中国の政治体制の違いについて知る	◇憲法（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）、政治の仕組み（行政機構・三権）、市民の権利と義務、日本の年号と天皇制
	② 日本 <u>の簡単な戦後史</u> を知る	◇敗戦から日本の民主化と復興へ
	③ 日本 <u>の簡単な地理</u> について知る	◇地方区分・行政区分、日本の主な県名・都市名、地勢と気候、日本の人口と国土の広さ
	④ 日本人の生活様式や価値観について知る	◇冠婚葬祭、年中行事、余暇娯楽、身だしなみ、食生活、経済生活（貯蓄、家計）、職業観（転職、目的・意義等）、教育事情（学校制度、学歴社会）、ライフコース、免許資格社会、交際事情（対友人、親戚等）、家族事情（親子関係、同居別居等）、女性の地位（家庭、職場等）
	⑤ 中国帰国者問題について知る	◇残留孤児の日本社会定着にまつわる社会的問題（住宅、就職、生活保護、異文化間のトラブル）、国籍と権利（国籍取得の選択）
	⑥ <u>簡単な機器</u> の操作をしてみる	◇電卓、コピー機、カメラ、ビデオデッキ、ビデオカメラ
	⑦ <u>一般的な、また帰国者にとって便利な情報メディアや情報提供機関</u> について知る	◇新聞（紙面構成、天気予報、テレビ番組欄等）、折り込みチラシ等広告、自治体の情報サービス（広報、中国語版生活情報）、情報誌、テレビ、ラジオ、図書館、電話サービス（中国語ニュース、104等）、中国書籍を扱う書店
2) 異文化 異文化社会での適応に伴う問題、及び日本での人間関係において生ずる問題を知り、自分の問題として対処法を考えてみる	① 一般的な異文化適応過程について知る	
	② <u>異文化事例</u> 等を通じて、文化の異同を把握し、その背景について考えてみる	◇『入郷随俗』等のトラブル事例、先輩の事例等個別のケース
	③ <u>サポートの手法</u> や精神の安定を保つための楽しみを見いだす方法について知る	◇中国帰国者のネットワーク、在日中国人のネットワーク、職場や地域社会でのネットワーク、「命の電話」等の相談機関（援護基金相談室、対中国人、対日本人）、個別のケース（先輩の事例）
	④ 今後の人生設計について考えてみる	
3) 日語自学 日本語の自学自習能力の基礎を身に付ける	① <u>生活の中で</u> 日本語を学べることを意識する	◇日常の教師とのやりとり（日直、指示だし等）、学校外の生活場面（含：職場）
	② 日本語学習に必要な <u>基本的技能</u> を身に付ける	◇辞書（日漢、漢字）引き（名詞や活用形の辞書形）、単語カード作り、教材（ファイル、テキスト）の活用方法（索引・目次等）、振りがな振り、メモをとって語彙を増やす
	③ 自分で学習課題を設定し、実施し、評価してみる	◇自己課題の選択、学習ペースの決定

中目標 3：身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 話題コミ 日本人と接することを通して、コミュニケーションに対する柔軟な姿勢を築くとともに、身近な話題でコミュニケーションできる	① <u>様々な手段</u> を用いてコミュニケーションできることを意識し、相手の発話が理解できないとき、自分の発話が伝わらないときの対処ができる	◇動作、筆談、絵、類推、具体物、言い換え、聞き返し、等
	② <u>自分に身近な話題</u> でコミュニケーションできる	◇簡単な自己紹介、家族、故郷、仕事・学校、中国での生活、好きなこと、したいこと、食べ物、行事
	③ 時や場所、相手を考えて、前もって準備された <u>話題</u> や <u>適切な表現</u> を使って <u>会話を継続</u> させることができる	◇コミュニケーションを切り出すための話題、共有できる話題、避けた方がいい話題 ◇相づち、ですます体と普通体 ◇身近な話題についての一つの題材をめぐる簡単な質問、身近な話題の範囲内で相手の反応に応じた簡単な展開
2) 日語知識 日本語の基礎的な知識を身に付ける	① <u>日本の文字の概要</u> について知るとともに平仮名、片仮名及び日常よく使われる漢字が読み書きできる	◇50音図のしくみ、平仮名50音図完成、平仮名で表記された語の音読、身近な片仮名語彙が読める ◇『身のまわりの漢字』の漢字が見てわかる（漢文字体の異同について知る）
	② <u>基本的な語彙</u> や <u>表現</u> の意味を知り、その一部が使える	◇『基本単語表』（Fレベル）、『基本文型・表現表』（Fレベル）
	③ <u>日本語の音声上の特徴</u> に注意して発音できる	◇単音、特殊音、拍、（アクセント、イントネーション）
	④ <u>日本語の文法</u> についての <u>基本的な知識</u> を身に付ける	◇『日本語のまきり・練習帳』（「単文の基本構造」、「文体・1」、「動詞の活用形・1、2」）
	⑤ ①②④レベルの <u>文章</u> が精読できる	◇センター開発教材（Fレベル）
	⑥ ①②④レベルの <u>文章</u> が書ける	